

小ロット・多品種のプレミアムアイスバー
製造における省力化と生産能力の向上

株式会社 パストラル

設備投資

事業者の概要

企業名	株式会社 パストラル	業種	食料品製造業
代表者名	代表取締役 市原 幸夫	T E L	0968-46-6588
設立	平成9年7月	F A X	0968-42-3051
住所	熊本県山鹿市鹿本町来民1929-2	U R L	http://niceice.net/
資本金	2,700万円	E - m a i l	kws1hara@hyper.ocn.ne.jp
従業員数	14人	担当者名	市原 幸夫

事業内容・経緯

当社は地元産の農産物を使用した多品種小ロットでアイスクリームやジェラート、アイスバーなどを製造販売している。オーダーメイドのOEM生産が事業の6割を占め、発注元は個人店から全国で数百店舗を展開する大手企業まで幅広い。2014年に㈱ロート製菓が首都圏を中心にアイスバー専門店「パレタス」を出店したことで、国内におけるプレミアムアイスバーブームが到来。アパレル系、雑貨系、カフェなどから市場参入が相次いだ。数万本以上でなければ発注できない大手のアイス工場に対し、当社は数百本から数万本に対応できる点から受注が増加。アイスバー製造装置1台では製造が追いつかず、生産量の増加を図る目的で、ものづくり補助金を活用し、アイスバーを冷却液で冷やし固める製造装置1台及び、アイス液を充填する凍結缶の洗浄機を新たに導入した。

事業の成果

アイスバー製造装置の冷却能力が向上したことで、連続運転が可能となり、また凍結缶洗浄機の導入によって、手洗い洗浄の時間的ロスも解消。生産能力は2,400本/日、52,800本/月、633,600本/年と導入前の2.5倍に、出荷額ベースでは最大9,500万円/年の生産能力になった。最近では、大手アパレルブランドが新商品キャンペーンで配布する洋服型のプレミアムアイスバーや、全国に300店を展開するカフェのカクテルアイスバー、人気ダンス・ボーカルグループが行う夏のイベントにおけるオリジナルアイスバーなど、多方面からプレミアムアイスバーの製造を受注。また、大手アパレルが展開するプレミアムアイスバー専門店の全てのアイスバーも製造しており、夏のピーク時は2万本/月を製造している。

今後の展望

季節性が高いアイスバーは7～8月に製造のピークを迎えるため冬場の稼働率が下がることや、大手企業からの発注は製造量が多いものの企画次第で終了するなど、年間を通じ安定した商品の発注先の確保が課題だった。そこで、2018年2月オープン予定の加工施設およびカフェ併設の洋菓子店を現在建設中で、自社で販売まで一貫して行うことで年間を通じた製造量の平準化を図る。これは同社の関連会社が生産する粟、アイガモ農法による米、アイガモ肉など農産物の付加価値向上を目指した6次産業化の一環。

また、プレミアムアイスバーのブームは落ち着きつつあり、ブーム終焉後はアイスクリーム市場規模4千億円の1～3%の40～120億円程度になるとみられる。アイスバー市場は多様化しており、当社はオーダーメイド小ロット多品種生産で培ったこれまでのノウハウを生かし、更なる売り上げアップを目指す。



▲今回増設したアイスバー製造装置。牛乳やシロップをベースとしたアイス液を冷やし固める



▲製造したプレミアムアイスバー。通常のアイスバーの約5倍の価格で販売される



▲導入した凍結缶洗浄機。以前は他の器具と兼用の洗浄機だったため導入によって時間のロスが減少



▲冷やし固めたアイスバーは手作業で袋詰め作業を行う